

ぶどうの木



わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。ヨハネによる福音書15章5節より

『満開の長藤の下で。
甘い香りにつつまれて
幸せになりました。』

根洗荘

新たな時代に向けて

目次

- 新理事長挨拶
- 役員メッセージ
- 2018年度決算報告
- 各事業所のトピックス
- 十字の園職員紹介 "VOICE"
- 新人職員紹介
- 前理事長よりメッセージ・寄付報告・あとがき



バトンタッチ 創立の精神の継承

Atsushi Suzuki

理事長 鈴木 淳司

2019年2月22日に開催されました法人理事会におきまして、前理事長 平井章の後を継ぎ、若輩ながら理事長という大任を仰せつかる事になりました、鈴木淳司です。社会福祉が大きな変革期を進む中、理事長の職に就くにあたり、その責務の重さを痛感しております。

新たに出発するにあたり、原点をしっかりと見据え、職員の皆様と一緒に歩んで行きたいと思っております。

十字の園は「私たちの法人は人間の力ではなく神様の力でやりたい」とのハニ・ウォルフ姉妹の思いを受け法人が設立されました。

どんな人にも、どんな時にも、神様が示された愛がある。その事を全ての人に仕える事で伝えたい。だから十字の園は、伝道と奉仕の団体として、何時までも消える事のない、神様の愛による希望の光で包まれる世界の実現を目指しています。

その事は、理念にある聖書の言葉「夕暮れになっても光がある」（ゼカリヤ書 14章7節）と「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」に示されています。

ハニ姉妹が出会ったのは、農村部で寝たきりのまま、トイレに行く事もできずに寝かされている高齢者の姿。戦後の時代に将来に希望を持たずに、自ら

命を絶つ高齢者の悲しみでした。その時は、誰もが歳を重ねれば訪れるのに、この様な悲しみが待ってはいけなないとハニ姉妹はその悲しみ、苦しみを自分の事として捉えました。そして、ドイツに帰り、献金を募り、多くの皆様の祈りの中で、十字の園の基礎がつくられました。

私たちが、この先達の思いを実現していく為に、昨年は行動規範を作成しました。

この行動規範を基に私たち十字の園の職員は行動し、ハニ姉妹や先達の思いを今に受け継ぐことで、時代が変わっても、地域社会に広がる苦しみや悲しみを自分の事として、その方たちと一緒に歩み続けます。

私を含め一人一人の職員の間では解決する事ができない事が数多くあります。しかし、私たちは、神様の力を信じて、諦める事なく、お互いに力を合わせて苦しみや悲しみと向き合います。

この様に、先達の思いを土台にしながら、これからの時代の変化の中でも、大切にしてきた事を実現できるように、職員の皆様と一緒に力を合わせて取り組んでまいりたいと思っております。

皆様、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

機関誌 ふどうの木について

ヨハネによる福音書 15章に、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人につながっていれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである」とあります。ぶどうの木のたとえ話は、神様と私たちのつながりを表しております。神様との結びつきの中で、皆様と一緒に多くの実を結べることを皆さんと一緒に喜びたい、その様な思いから機関誌名を「ぶどうの木」としました。



Takahiro Yamamoto

浜松十字の園
施設長
山本 隆弘

今年4月に理事長が交代しました。私個人としては大きな転換点だと認識しています。私や新理事長が十字の園の一員となったのは平井前理事長の時代で、私たちは初代理事長から3代目理事長までの方々と一緒に仕事をすることがない世代になります。前理事長は、直接耳にし、関わってこられた体験を通して、十字の園の理念や歴史を語られましたが、これからは、伝承し続ける世代に入っていきます。前理事長から直接学んだ事柄や残されている貴重な資料を咀嚼し行動を示していくことが、バトンを引き継いだ私たちの役割であり責任であると改めて心に刻んでいます。そのような意味合いで「転換点」と捉えました。

『人の思いではなく、神様の力で…』

昭和35年12月に十字の園は社会福祉法人の認可を受け、翌年1月に浜松十字の園を開設し、神様から委ねられた福祉の業の実践を開始し、現在、浜松・御殿場・伊豆の3地区で事業展開しています。様々な社会環境の変化に伴い制度は随時更新され、地域ニーズは各地区それぞれに違いや特徴が生じてきました。これらへ柔軟に対応していくため、今年4月、地区ごとに統括理事を配置し、特に浜松と伊豆は複数の拠点施設が協働して関わっていく仕組みを整えることとしました。

浜松地区においては、浜松十字の園・アドナイ館・第2アドナイ館を一体運営し、例えば、入居者の状態に応じた適切な生活環境を3つの入居施設で共有し関わっていくことや各施設の在宅事業を一括りの組織にして利用者情報や職員配置の共有を進め一体的に在宅生活を支援していく試みを始めました。

様々な試みが始まりませんが、十字の園創立に当たりハニ姉妹が話された「人の思いではなく、神様の力の大きさでやりたい」との言葉を改めて思い起こします。神様の御心を祈り求め、神様の力に委ね、示された役割を成していく所存です。



Katsutoshi Miyajima

御殿場十字の園
施設長
宮島 克利

6月の定時評議員会の前にこの機関誌原稿を書いておりますが、この時に理事の改選が予定されています。この改選には「これからを担う人達が頑張りなさい」といった強い期待と意味が込められていることを私自身ひしひしと感じています。

3年ほど前に日本経済新聞出版社発行の『会社の老化は止められない』（著者細谷功氏）を読んで「十字の園の現実と将来について考える会」が法人内の比較的若手の5人の施設長が集まって開催されました。新体制では、この時の施設長が兼務しながら理事を担うこととなり、既にこの頃からバトンタッチの準備が始まっていたことを思います。

『バトンを受けて』

著書では「会社も人間と同じように老化は止められない」とあり、その老化という不可逆プロセスに対抗するには「世代交代」が必要とあります。しかし、ここで言われる「世代交代」とは、単に経営者が若返ったとか、職員の新陳代謝によって平均年齢が下がったとかではなく、今までの常識にとらわれずにイノベーションを起こしていくということです。国の財政課題や人口減少社会が背景にあって、社会福祉を取り巻く状況や法人が求められることなどは大きく変わってきています。今までの慣習や既定概念にとらわれず自由に、そして大胆に創意工夫していくことが益々大事なのだと思います。

但し、変わってはならないこともあります。十字の園創立に関わったハニ・ウォルフ氏の手記に「神様、もしあなたの御用に立てなかつたら、いつでもつづいてください」とあります。十字の園の特徴は、各施設に関わっている教会があることです。御殿場十字の園が御殿場教会の方々の祈りによって設立されたように、これからも、教会とつながりながら地域に根ざし、必要とされる支援のためにイノベーションを繰り返していけたらと思います。

2018年度事業報告

2018年度も、ここにある理念の下、職員のみなさまの努力と働きにより地域のみなさまに喜ばれ、継続することのできる運営結果となりました。地域のみなさま、ご協力頂いた関係各位、そして何よりも職員のみなさま全員に厚く御礼申し上げます。

事業計画に掲げた5項目について、取組結果を報告させていただきます。

理事長 鈴木 淳司

1. 創立の精神（理念）を受け継いでいくことへの具体的な行動

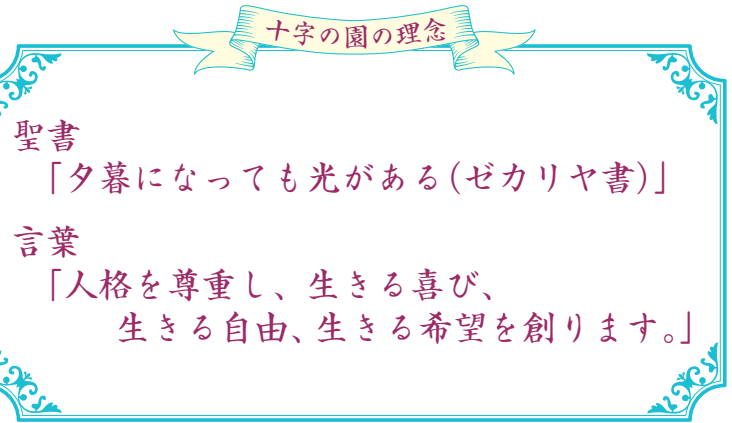
理念の継承は「十字の園大会」が22回目を迎え、松崎十字の園が当番施設となり「キリスト教福祉って何～変えられるもの、変えられないもの～」をテーマに、キリスト教福祉について、職員が理念と実践を結びつけて考える機会となりました。

2. 内部管理体制の基本方針に基づく体制を具体的に整備する

基本方針の柱になる「十字の園の行動規範」を、選任された理事3名が原案を作成し策定しました。（本誌2ページ参照）

3. 十字の園ファミリー（神の家族）として「キリスト教精神に立って」の運営をする

キリスト教精神に立って運営を行う為に「日めくり聖書（み言葉）カレンダー」を配布し、聖書の言葉を意識し仕事を始めるという試みをしました。



4. 職員育成プログラムと職員待遇の改善への具体的な取り組み

育成プログラムは「職員評価シート」を活用し、評価制度の定着と精度の向上にむけて取り組みました。

職員待遇改善では、定年を「65歳」に改訂し、「エルダー職」としました。60歳に到達した職員の多くは継続して働くようになり、また、この制度により、50代の就職申し込みが増え、職員確保に結びついてきました。

5. 法人・施設の健全な経営と中長期計画の具体的な構想作り

健全な経営については次頁の決算報告にて掲載します。

中長期計画については、具体的な構想を作るには至らず、次年度において、新規事業への中長期計画を策定していきます。

続いて、事業実績を数字やグラフにして報告させていただきます。

2018 Financial Report

社会福祉法人十字の園

2018年度 決算報告



多くのつながりの中で、
実を結ぶことができました。

法人本部事務局長 山本 隆弘



- ・2018年4月の介護報酬改定は、0.54%プラス改定でしたが、通所介護や訪問介護においては実質マイナスとなる厳しい内容でした。
- ・人材確保は厳しさを増し、事業地区により利用者数の減少等の課題もありましたが、各拠点の経営努力や大口の寄付金により、サービス活動収益は前年比7,148万円増の34億1,373万円となり、経常増減差額は前年比5,972万円増の1億898万円を計上できました。
- ・御殿場十字の園では、2か所目の地域包括支援センターを開設し、御殿場市と地域住民の要請に応えました。
- ・浜松十字の園は省エネ補助金を活用して空調設備・照明・断熱防水等の大規模修繕工事を実施し、老朽化した施設設備を更新しました。

1 貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：万円未満切捨)

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
流動資産	103,080	流動負債	39,817
固定資産	420,781	固定負債	124,469
基本財産	341,303	負債の部合計	164,287
その他固定資産	79,477	基本金	87,012
		国庫補助金等特別積立金	155,970
		その他の積立金	13,652
		次期繰越活動増減差額	102,939
		(うち当期活動増減差額)	10,972
		純資産の部合計	359,574
資産の部合計	523,861	負債及び純資産の部合計	523,861

2 事業活動計算書

(2018年4月1日～
2019年3月31日)

(単位：万円未満切捨)

勘定科目	決算額
サービス活動収益計 ①	341,373
サービス活動費計 ②	329,240
サービス活動増減差 ③=①-②	12,132
サービス活動外収益計 ④	3,365
サービス活動外費用計 ⑤	4,599
サービス活動外増減差額 ⑥=④-⑤	△ 1,233
経常増減差額 ⑦=③+⑥	10,898
特別収益計 ⑧	5,996
特別費用計 ⑨	5,922
特別増減差額 ⑩=⑧-⑨	73
当期活動増減差額 ⑪=⑦+⑩	10,972
前期繰越活動増減差額 ⑫	91,678
当期末繰越活動増減差額 ⑬=⑪+⑫	102,650
その他の積立金取崩額 ⑭	6,460
その他の積立金積立額 ⑮	6,171
次期繰越活動増減差額 ⑯=⑬+⑭-⑮	102,939

3 資金収支計算書

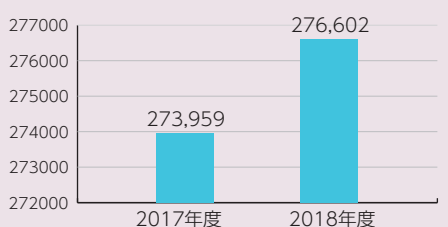
(2018年4月1日～
2019年3月31日)

(単位：万円未満切捨)

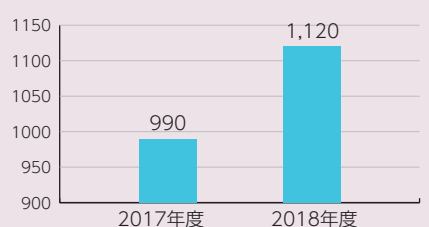
勘定科目	決算額
事業活動収入計 ①	345,085
各種事業収入計	336,160
寄付金収入	5,559
事業活動支出計 ②	318,658
人件費支出	237,314
事業活動資金収支差額 ③=①-②	26,427
施設整備等収入計 ④	80,836
施設整備等支出計 ⑤	103,648
施設整備等資金収支差額 ⑥=④-⑤	△ 22,812
その他の活動収入計 ⑦	8,184
その他の活動支出 ⑧	7,987
その他の活動資金収支差額 ⑨=⑦-⑧	197
当期資金収支差額合計 ⑩=③+⑥+⑨	3,812
前期末支払資金残高 ⑪	87,981
当期末支払資金残高 ⑫=⑩+⑪	91,793

※決算書類の詳細は当法人ホームページをご参照下さい。
<http://www.jyuji.or.jp/>

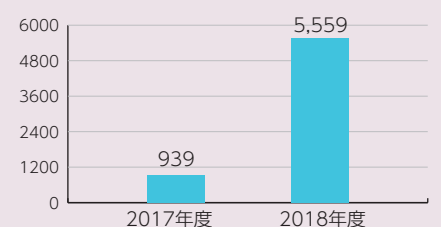
介護保険事業収益 (単位：万円)



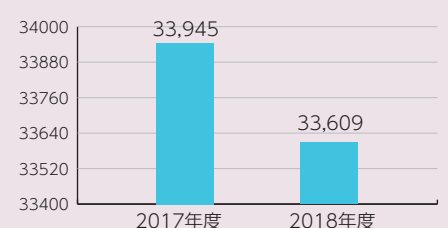
就労支援事業収益 (単位：万円)



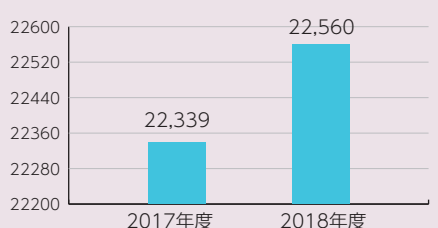
寄付金収益 (単位：万円)



老人福祉事業収益 (単位：万円)



障害福祉サービス等事業収益 (単位：万円)



言葉の解釈

介護保険事業収益

特養、デイサービス、訪問、居宅支援、地域包括支援センターなど介護保険事業の収入

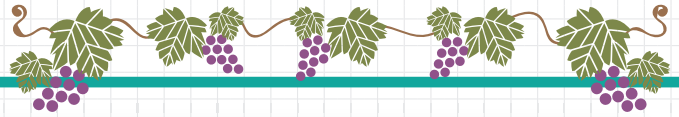
老人福祉事業収入

ケアハウス、養護老人ホームなどの収入

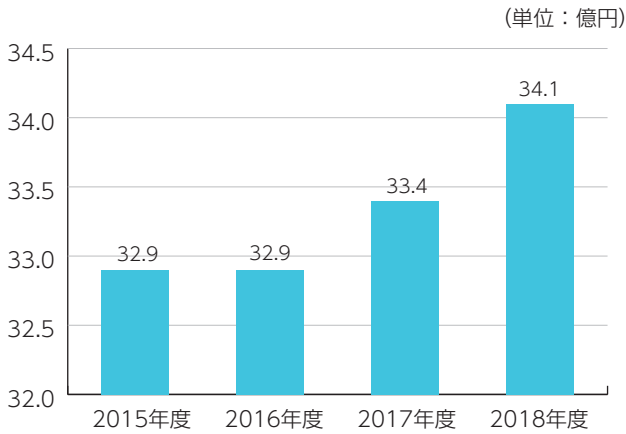
障害福祉サービス等事業収

障がい者入所施設、デイサービス、訪問、相談支援などの事業収入

2018年度 事業実績

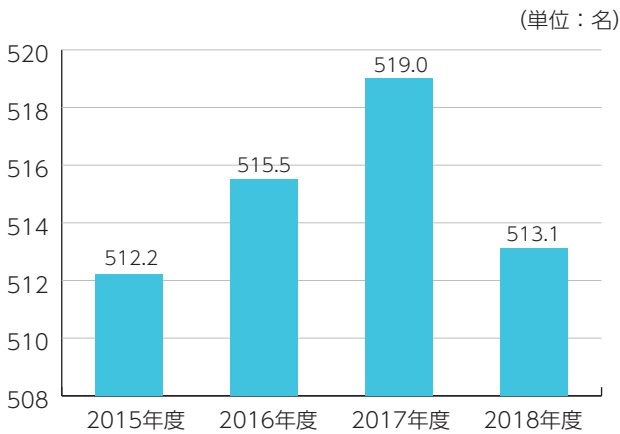


サービス活動収益計

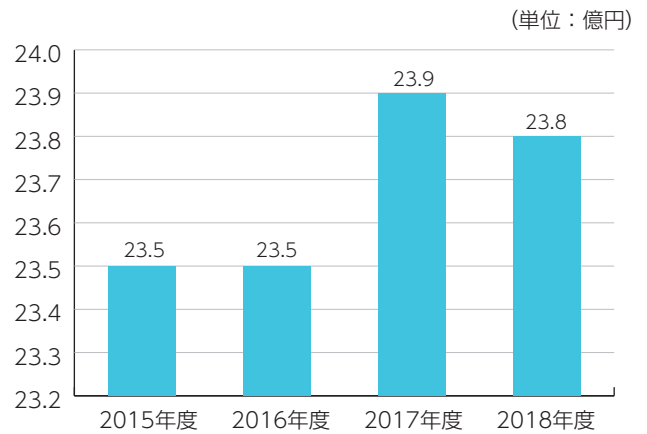


法人全体では3年連続で増収・増益を続けています。2018年度は、報酬改定の対応をみなさまが努力して下さったことや新規事業が開設されたこと、大口の寄付金などが増収の要因になっています。

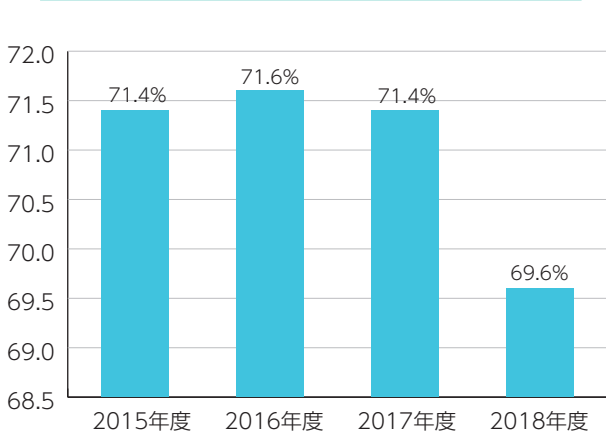
総職員数【常勤換算】



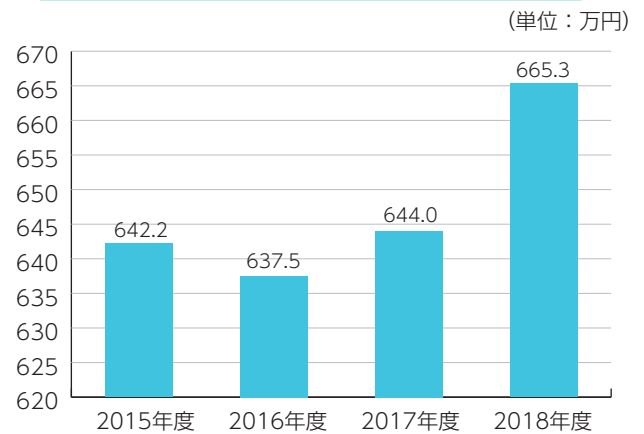
人件費計



人件費率



職員1人あたりの収益



人件費については、職員採用が厳しい中、2019年4月新卒採用者を5名確保し、2018年度は退職者や異動、産休育休等の補充に中途採用者を75名を確保することができたものの、総職員数（常勤換算）は前年度より減少しました。そのような中で、みなさまと協力し合い、事業継続に努力し、職員1人あたりの収益額も年々上がり続け、生産性が向上されています。



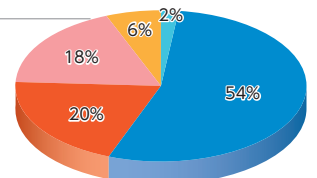
各施設の 利用者の概要

- ・最高年齢は 104 歳（浜松十字の園）
- ・平均介護度が最も高い施設は 伊豆高原十字の園
- ・平均在籍期間が最も長い施設は オリブ
- ・地域や事業種別ごと、特徴ある運営を行っています。

ケアハウス アドナイ館

adonaikan

● 平均介護度 1.38

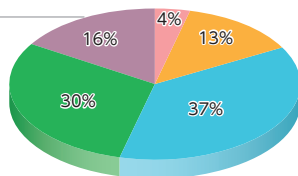


	現員	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均	平均在籍期間
男性	14人	93歳	47歳	79歳6ヶ月	82歳0ヶ月	8年6ヶ月
女性	36人	96歳	57歳	82歳9ヶ月		

特別養護老人ホーム 浜松十字の園

hamamatsujyujinosono

● 平均介護度 3.41

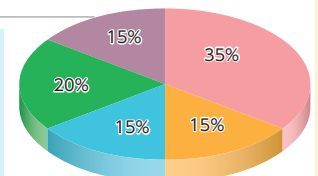
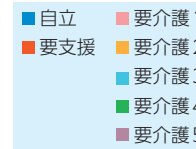


	現員	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均	平均在籍期間
男性	32人	96歳	66歳	81歳	86歳0ヶ月	3年4ヶ月
女性	85人	104歳	66歳	88歳		

ケアハウス 第2アドナイ館

dai2adonaikan

● 平均介護度 2.65

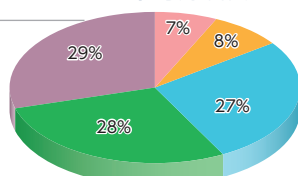


	現員	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均	平均在籍期間
男性	2人	102歳	93歳	98歳0ヶ月	89歳5ヶ月	4年4ヶ月
女性	18人	102歳	73歳	88歳6ヶ月		

特別養護老人ホーム 御殿場十字の園

gotenbajyujinosono

● 平均介護度 3.65

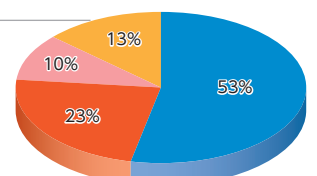


	現員	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均	平均在籍期間
男性	29人	100歳	63歳	78歳3ヶ月	85歳7ヶ月	3年7ヶ月
女性	77人	103歳	65歳	88歳2ヶ月		

ケアハウス 御殿場アドナイ館

gotenbaadonaikan

● 平均介護度 1.57

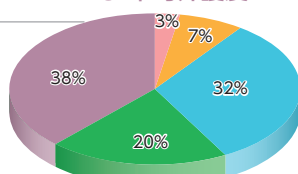


	現員	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均	平均在籍期間
男性	7人	90歳	68歳	80歳8ヶ月	82歳0ヶ月	4年7ヶ月
女性	23人	90歳	50歳	82歳4ヶ月		

特別養護老人ホーム 伊豆高原十字の園

izukogenjyujinosono

● 平均介護度 3.82

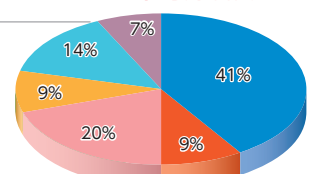


	現員	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均	平均在籍期間
男性	16人	100歳	67歳	81歳7ヶ月	85歳0ヶ月	3年10ヶ月
女性	74人	100歳	65歳	89歳5ヶ月		

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜

heiwanomori

● 平均介護度 2.27

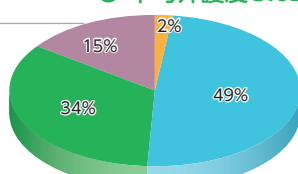


	現員	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均	平均在籍期間
男性	12人	93歳	70歳	81歳8ヶ月	85歳5ヶ月	5年8ヶ月
女性	32人	98歳	69歳	83歳2ヶ月		

特別養護老人ホーム 松崎十字の園

matsuzakijyujinosono

● 平均介護度 3.62

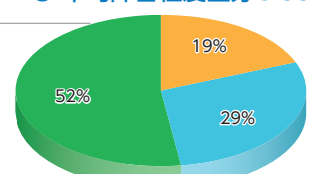
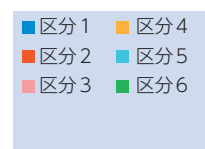


	現員	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均	平均在籍期間
男性	9人	93歳	72歳	85歳8ヶ月	87歳4ヶ月	2年8ヶ月
女性	41人	98歳	40歳	87歳8ヶ月		

障害者支援施設 オリブ

oribu

● 平均障害程度区分 5.33



	現員	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均	平均在籍期間
男性	12人	74歳	24歳	49歳8ヶ月	51歳0ヶ月	12年2ヶ月
女性	9人	68歳	41歳	52歳6ヶ月		

浜松十字の園

立春から数えて八十八日。今年の八十八夜は5月2日です。令和2日目、世間はお祝いムード一色。私たちも八十八夜を華やかに、艶やかにと茶娘？を集め、賑やかな会を行いました。



正統派の茶娘。



怪しい茶娘。意外に人気ありました。世の中、何がウケるかわかりませんね。



新茶!! 乾杯~!!



ショートステイ

御殿場ショートステイ コスモス

日常の一場面です!

今日はスリッパ飛ばし やりまーっす!

それいけっ! ガンバシ!

いっぱい倒すぞ!!

これ意外と 難しいのよねー。

毎日午後から体操やレクで身体を動かしながら楽しんで頂いております。

お寿司屋さんへ 行ってきました。

お寿司大好き いっぱい食べるぞー

ご夫婦参加で お寿司なんて 素敵ですねー。

ついついたくさん 食べちゃったわ。

月1程度ですが、希望外出もやっていますよ。

各事業所の

トピックス

デイサービス

松崎十字の園 デイサービスセンター



ろうそくを溶かして



クレヨンを細かく削って

いつも歌や踊りを披露してくれている近くの保育園の子供たちに感謝の気持ちを込めて、手作りのキャンドルをプレゼントしました。



型に入れ



みんなでわいわい作りました。



喜んでもらえて大満足！！

保育園に遊びに行きました

キャンドルもプレゼント

CANDLE

その他事業所

伊豆高原十字の園

子ども食堂 風の子

ひとりごはんより みんなでワイワイ！



風の子 open!!



「風の子」は、食事を通じて地域ぐるみで子供を見守り育てていく、垣根のない居場所です。対島地区の地域包括ケアの一環として、八幡野地区の子どもを対象に、家庭的な雰囲気の中でおこない、食育と地域の子どもの居場所づくり、地域住民との交流拠点としていくことを目的におこなっています。地域のボランティアの方々の協力を得ながら、顔の見える関係やお互いに気に掛け合う関係ができ、あたたかな地域をつくれたいと思います。



うさぎをイメージして盛り付けたカレー



手作り柏餅♪♪



VOICE

Introduce the face of the staff

穏やかに、楽しく、
笑える環境となるように

南に大室山、北に一碧湖…伊東の豊かな自然環境の中、くつろぎの家通所介護事業所で日々管理者として業務を行っています。

普段は皆でカラオケを歌ったり、体操を行ったりしていますが、天候の良い時は近隣で散歩を楽しむこともあります。お風呂は一人ひとり入っていただき、昼食後はコーヒーを用意する等、くつろげる時間を提供することを意識し、アットホームな雰囲気を心掛けています。そのため、時間がゆっくり流れている感じがくつろぎの家にはあります。



くつろぎの家の外観



笑いヨガ



TOSHIKAZU SATOMI

STAFF File.01

さとみ としかず

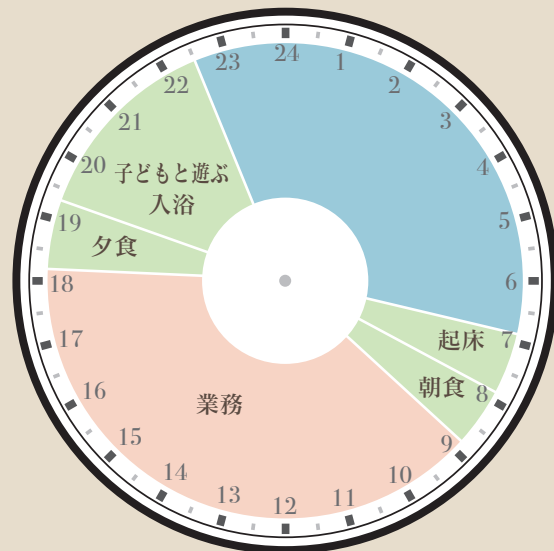
里見敏和

平成11年11月1日入社

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜
一碧の杜くつろぎの家（通所介護事業所）

趣味：読書。楽しいことを考えること。
人前でのトーク。笑いヨガ。
好きな物：永ちゃん。お酒。カラオケ。
嫌いな物：突然のつつこみ（質問）に弱い。

とある24時間のスケジュール



Q 仕事をする上で大切にしていること

利用者がくつろぎの家に来てから帰るまでの時間が、穏やかに、楽しく、笑える環境となるよう意識しています。

Q 就職した理由

以前、横浜の障がい者の作業所で働いていました。父親が他界し伊東に戻る事を決め知人の紹介により伊豆高原十字の園に就職することになりました。

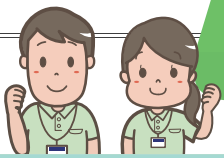
Q 入職後感じたこと

お年寄りには年長者、尊敬すべき人というイメージでしたが、実際に接して、好き嫌いがある方や、自由奔放な方がおり、色々な人がいるのだなと感じました。そういう中でもひとりひとりの人を尊重する事が大切だと感じています。



新人職員紹介コーナー

Introduction of newcomers



あなたの
セールスポイントを
一言で!



浜松十字の園

特養介護職員
原田 千裕

CHIHIRO HARADA

不器用ですが精一杯頑張るところです。



浜松十字の園

特養介護職員
袴田 璃々香

RIRIKA HAKAMATA

毎日明るく笑顔な所です!



浜松十字の園

特養介護職員
杉浦 由侑

YOSHIYUKI SUGIURA

積極的にコミュニケーションを取れる。



浜松十字の園

特養介護職員
大橋 由明

YOSHIAKI OHASHI

何事も一生懸命頑張るところです。



浜松十字の園

看護職員
鎌田 伸枝

NOBUE KAMADA

ご利用者にいつも笑顔で接することができること。



御殿場十字の園

看護職員
金田 幸子

SACHIKO KANADA

登山が趣味で、富士山に登るのが楽しみです。



御殿場十字の園

訪問介護職員
芹澤 公乃

KIMINO SERIZAWA

なんでも挑戦するところ! 三日坊主ですが。



御殿場十字の園

特養介護職員
神谷 朱音

AKANE KAMIYA

初対面の人ともすぐに仲良くなれます。



御殿場十字の園

特養介護職員
矢作 大希

DAIKI YAHAGI

細かい部分まで目を配ることが出来ます。



御殿場十字の園

特養介護職員
塚本 篤史

ATSUSHI TSUKAMOTO

私はこう見えて日本史に詳しいです。



御殿場十字の園

居宅介護支援専門員
大森 奈穂美

NAOMI OMORI

こう見えて新人です。(笑)



御殿場十字の園

事務職員
榊田 志保

SHIHO MASUDA

娘曰く、「自分の意見を持ち即行動できる」とこ



伊豆高原十字の園

特養介護職員
阿部 功

TSUTOMU ABE

趣味でジョギングをやっています。



伊豆高原十字の園

居宅ケアマネージャー
小林 直樹

NAOKI KOBAYASHI

自分の考えや正論に固執せず、相手の事を知りたいという気持ちで接します。



伊豆高原十字の園

デイサービス介護職員
武田 愛香

AIKA TAKEDA

お年寄りの方と接するのが大好きです。



伊豆高原十字の園

給食室
長谷川 貴子

TAKAKO HASEGAWA

セールスポイントは元気とやる気です。



松崎十字の園 オリブ

生活支援員
土屋 潤

JUN TSUCHIYA

豆知識・雑学が好きです。



平和の杜

デイサービス介護職員
城之内 結花

YUKA SHIRONOUCHI

歴史とジブリが大好きです。



第2アドナイ館

ケアハウス介護職員
鈴木 秀代

HIDEYO SUZUKI

思い立ったが吉日で行動します。



第2アドナイ館

ケアハウス介護職員
村松 千賀

CHIKA MURAMATSU

いつも笑顔でNK細胞増やします。



「楽しく働いた」 44年1ヶ月と19年7ヶ月

十字の園4代目理事長 平井 章

御殿場十字の園⇒伊豆高原十字の園⇒法人⇒浜松十字の園⇒法人⇒アドナイ館⇒法人⇒浜松十字の園・理事長⇒第2アドナイ館⇒理事長専任。十字の園人として44年1ヶ月、理事長として19年7ヶ月間働きました。楽しく働いた思い出は山ほどあります。

事務職がスタートで、福社会計が単式簿記から複式簿記に移行する時でした。東部事務部会を立ち上げ他施設職員と一緒に勉強しました。施設内では音楽サークル、施設内かわら版の発行、運動会の仮装大会、職員交流の卓球大会、職員研修旅行などを仕組みました。伊豆高原十字の園では開園3か月後に「支える会」の寄付金趣意書・会員申込書・振込用紙を作り、7,000人に発送し、1,000人超が会員になり4年間で延べ4,076人から28,868,675円の寄付金が集まりました。私の自慢の一つです。

専門家でもないのに、社会福祉法人のO A化、介護保険制度や社会福祉法人会計の講演、ケアハウス経営指導研究会、静岡県ユニットケアセミナーの講師もしました。これらの講演のためによく準備し、勉強もしました。

十字の園でお世話になった恩返しに、自費出版の『創立の精神の継承』とは別に、日本で最初の特別養護老人ホームとしての十字の園の理念と歴史の資料館を開設し運営します。

Cafe Salon Mutters Haus
カフェ&サロン ムッターハウス、気軽にお寄りください。



寄付報告 Donation report

温かいご支援をありがとうございます。

2018年度も多くの皆様から心温まるご支援とご寄附を賜わり、誠にありがとうございました。皆様方から寄せられたご寄附は、より良い施設づくりのための施設整備及び備品購入に充てさせていただきます。

今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に応える施設として活動する十字の園へのご支援をよろしくお願ひします。

■法人本部	17件	18,115,000円	■アドナイ館	65件	971,000円
■浜松十字の園	59件	1,152,795円	■御殿場アドナイ館	4件	121,268円
■御殿場十字の園	59件	1,607,953円	■第2アドナイ館	11件	31,204,000円
■伊豆高原十字の園	109件	1,497,666円	■伊東市立養護老人ホーム	7件	345,000円
■松崎十字の園	13件	565,000円	■オリーブ	3件	12,000円

合計 347件 55,591,682円

あとがき

ぶどうの木は第47号からカラーになり、職員一人ひとりに読んでいただけるようにと考え、リニューアルしました。それぞれ違う場所、違う仕事をしている職員が忙しい中遠くから集まり、話し合いながら準備させて頂いています。今後ともより良い機関誌作成が出来る様に努力していく次第です。

高木（たかぎ）



広報委員会の様子

表紙の写真募集します！

テーマ
職員と利用者さんとの
暖かな関わりの光景

※写真使用許可が必要です。

各事業所法人広報委員まで